

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1492600851
法人名	株式会社リビングプラットフォーム
事業所名	ライブラリ東林間
訪問調査日	2018年12月14日
評価確定日	2019年3月8日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 30 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492600851	事業の開始年月日	平成28年3月1日	
		指定年月日	平成28年3月1日	
法人名	株式会社リビングプラットフォーム			
事業所名	ライブラリ東林間			
所在地	(252-0311)			
	神奈川県相模原市南区東林間4-39-8			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成30年11月26日	評価結果 市町村受理日	平成31年3月15日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>当事業所の特徴はグループ内にサービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム・小規模多機能型居宅介護事業所・定期巡回随時対応型居宅介護事業所・訪問介護・居宅介護事業所など、多数事業所を運営しており、ライフスタイルや入居者の状況に合った住み替えや利用が可能な点です。その他、障がい・保育事業所も運営しておりご入居者・ご家族様が安心して生活が送れるようなサービス提供を行っております。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成30年12月14日	評価機関 評価決定日	平成31年3月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>●この事業所は、株式会社リビングプラットフォームの運営です。同法人は、介護事業、保育事業、障がい者事業を中核として、多岐に亘る福祉事業を北海道から関西地区までの幅広いエリアで展開しています。介護事業では、介護付有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護、訪問介護、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護、グループホーム等、在宅介護から施設介護まで、利用者のニーズに合わせたサービスを提供しています。ここ「ライブラリ東林間」は小田急江ノ島線「東林間」駅から徒歩8分程の戸建住宅やマンションなどが立ち並ぶ住宅地に位置しています。事業所の直ぐ前には緑道があり、緑道はどんぐりの林間公園まで続いており、道々で手入れされた花々が観られる散歩道になっています。</p> <p>●法人の経営理念や、行動指針を基に作成した事業所独自の理念「楽しく安心」は、開設当初に職員一人ひとりの意見を集約したもの作成しています。副題として「明るく笑顔のたえない感謝と思いやりを忘れない憩の家をつくる」と決め、理念に沿った支援が出来ているか日々確認しています。今年度から交代した管理者は、利用者に少しの時間でも散歩やレクリエーション、体操などが出来るようにと取り組んでいます。</p> <p>●地域の社会福祉協議会が主体となり、地域の様々な団体の協力を得ながら「地域住民による支え合いの活動」を進めています。事業所では、新たに今年度から社会福祉協議会構成メンバーに入会の手続きを行っており、今後は「福祉コミュニティ形成事業」や「ふくしまつり」に参加することで、更なる地域との交流が期待されます。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ライブラリ東林間
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の経営理念・行動指針を踏まえ全職員で施設目標を考え目標にそって実践している。	法人の経営理念や、行動指針を基に作成した事業所独自の理念「楽しく安心」は、開設当初に職員一人ひとりの意見を集約したもの作成しています。副題として「明るく笑顔のたえない感謝と思いを忘れない憩の家をつくる」と決め、毎朝の申し送りや、毎月の職員会議にて理念に沿った支援が出来るか確認しています。		今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域が主催のお祭り等に参加。	散歩時に地域の方と挨拶したり、近隣の神社のお祭りや、毎年盛大に開催される「東林間サマーわぁ！カーニバル」を利用者と一緒に見に行っています。また、地域で開催されている「認知症カフェ」にも積極的に参加して交流を図っています。今年度から新たに地区の社会福祉協議会に加入したことで、より沢山の地域の方々との交流が期待されます。		今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて取り組みの報告をしている。又、会議録等を行政に提出している。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に一度包括支援センター、地域住民代表、入居者様家族に呼びかけて運営推進会議を行い、取り組みの報告や意見交換を行っている。	運営推進会議は、奇数月の平日とし、年6回開催しています。地域包括支援センター職員、地域住民代表、家族の参加はありますが、今後は、民生委員の方にも参加して頂けるよう呼びかける予定でいます。議題は事業所の現状・活動報告、事故報告の他、事前に行っている家族アンケートで頂いた意見等について報告し、参加者からの意見・提案を聴いています。議事録は、玄関にも置いて誰でも自由に閲覧出来るようにしています。		今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の議題、議事録を提出し取り組みの報告を行っている。又、市からの研修等に積極的に参加する様にしている。	市や区からの情報や研修案内などは、事務所内に掲示して職員に周知しています。社内規定で実践者研修が社員登用の必須条件となり、積極的に職員の参加を促しています。運営推進会議の議事録は、直接担当者に手渡しで説明をして意見など聞いています。また、生活保護受給者の受け入れも行っている関係で、生活保護課担当者とは連絡を密に取っています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員に対しマニュアルの周知を促している。又、委員会を作り毎月研修を行っている。エントリ出口、夜間のみ玄関の施錠をしているが、ご家族様にその旨を説明している。	身体拘束廃止マニュアルを完備し、マニュアルに沿って定期的に研修を実施しています。また、身体拘束委員会は毎月の職員会議の後に開催しています。年に数回は、身体拘束や虐待に関連した言葉遣い、介助方法などについて職員アンケートを実施し、その結果を基に研修も行っています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	マニュアルや資料で学んでいただいている。又、委員会を作り研修や、毎月職員会議にて身体拘束、虐待について話し合いを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は実施していない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時、重要事項説明書、契約の内容をしっかりと説明し正副にて交付している。又、いつでも閲覧できるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来所時に職員より普段の様子をお伝えしている。苦情に対し窓口を設置いつでも対応できるようにしている。運営推進会議を開き意見、要望を聞いている。	家族の面会所時に、近況報告と併せて意見や要望を聴いています。必要な時には、管理者が直接話を聴くこともあります。面会に来られない家族へは、必要に応じて管理者が電話連絡して意見や要望を聴いています。家族からの意見や要望は、申し送りや職員会議で伝えている他、連絡ノートにも記入して周知しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日朝にミーティング、月1回職員会議を開き話し合っている。	毎朝のミーティングや月1回の職員会議で、職員から意見や提案を聴く機会を設けています。ユニット会議も月1回開催し、リーダーがユニットごとの意見や提案を取りまとめて管理者に報告したうえで検討しています。同法人内のグループホーム管理者によるエリア会議も月1回開催しており、全体で共有すべき事項について報告しています。また、管理者との個人面談が、年4回実施しており、その際に目標管理に対する自己評価についても話し合っています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	四半期毎に人事評価を行い、キャリア、能力に見合う給与体系の構築、働く意欲の引き出し、将来に向かってやりがいのある職場になる様に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の資格取得支援制度を推進。法人内外部の研修を進め補助金を支給している。又、行政から来る研修案内を開示し希望者にはなるべく参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会やグループ会社との合同会議、運営推進会議を活用している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	フェイスシート、ケアプランにて情報を共有し入居者様の声に耳を傾け対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に面談を行い、アドバイスやどのように過ごして頂くかをお話しし対応を決めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、入居者様に話を聞きしっかりと介護計画を立てて必要な支援を提供している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の出来ること、やりたいことを見極め一緒に行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	相談、報告を行い出来る限り要望に応えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域のイベント、地域包括支援センター主催の認知症カフェに出来る限り参加している。	地域の公民館で老人会の麻雀、囲碁、将棋などに参加することで、馴染みの関係が継続できるよう支援しています。家族や友人の面会時に、一緒に外出して散歩や食事をしたり、正月には家族と一緒に、自宅に泊まって来る方もいます。中には携帯電話を持参している方や、手紙や年賀状の遣り取りをしている方もいます。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性を考えたり、間に職員が入り関係性のフォローをしている。			
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	弊社の他のサービスを紹介したりいつでも相談できる窓口を設置している。			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	記録、会議等で情報共有をし職員間で話し合い、その人の希望や思いを考えて支援を検討している。	入居時には本人、家族からの情報をフェイスシートに記録し、入居後に分かった事や家族から聴いた事は書き足しています。日常の気付きは、介護記録や申し送りノートに記録し、職員間で情報を共有しています。思いや希望を伝えることが出来る方も多く「希望を叶えるノート」に何でも自由に書いて頂き、可能な範囲で叶えられるよう支援しています。		今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面談時、家族に聞いた情報を個人情報にまとめ職員に把握して頂いている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録を取り職員間、医療機関と情報を共有している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議を利用し話し合いを行っている。又、介護記録情報を活用している。	日常の全ての情報を介護記録ソフトに入力して、介護計画を作成しています。短期目標は3ヶ月、長期目標は6ヶ月の見直しを基本として期間毎や、入退院等の変化が有った方を対象にカンファレンスを行い、介護計画を作成しています。家族へは、面会時や電話で説明を行ない確認印を頂いています。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別介護記録、申し送りノート、会議録を活用し職員間での情報共有を行い、ケアに反映している。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族からの要望があった時はその都度検討し支援している。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のイベントには、なるべく参加出来るように検討している。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族、本人様の意向に添って連携を取っている。	以前からのかかりつけ医での受診を継続している方がいます。協力医療機関による月2回の訪問診療を受けている方がいます。歯科は口腔ケアを定期的に受ける利用者と、必要に応じて治療等を受けている方がいます。他科の受診が必要な場合は、協力医療機関の紹介状を書いて頂き受診しています。看護師が週1回来て、健康管理や医療面について相談にのって頂いています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問日を把握し、入居者様の相談事をまとめて報告している。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は適宜MSWと連絡を取り合い、受け入れ態勢を整える様になっている。また、退院後も診療情報をかかりつけ医に報告する体制を取っている。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の指針を掲げ、契約時に説明・同意を得ている。	入居時に重度化した場合の指針と、延命治療について説明して同意を頂いています。入居後も状況の変化に応じて、都度、延命治療等について家族の意向を確認しています。過去には看取りの経験もあり、看取りのマニュアルや、職員の医療機関や看護師による研修も行われています。		今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修計画担当者が定期的に研修を企画している。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	外部、内部訓練を定期的に計画している。	年2回の防災訓練は、消防署からの意見やアドバイスを盛り込んで、避難・通報訓練を実施しています。防災マニュアルの整備と共にフローチャートを作成し目につきやすい場所に掲示しています。備蓄品などは、建物の外にある倉庫で保管していますが、それ以外にも法人のエリアで備蓄を行うなど、お互いの協力体制が出来ています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	アセスメント時に過去の経歴や生活歴を把握し、本人にあった声掛けができるように職員間で共有している。	入職時の研修で人格の尊重やプライバシーについて学んでいます。管理者は、排泄や入浴介助時、言葉遣いによって、利用者の人格や尊厳を損なうことのないよう、職員会議時に職員に周知しています。定期的に言葉遣いや、対応について「自己評価表」を通して振り返りを行っています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員会議、介護記録を活用し入居者の思いを知るように心掛けている。	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	声掛けを行い、本人の希望に沿った支援をしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容が必要な方にはしっかりと支援し本人の好みを聞き取り把握して支援している。又、定期的に訪問理美容を呼んでいる。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳等出来る所は一緒に行っている。	食材とメニューは、業者に発注して職員が調理しています。出来る方には、簡単な下拵え、下膳、食器洗い、拭き、テーブル拭きなどを手伝って頂いています。月に1回は、利用者の希望で「パン食の日」を設けています。行事の時には、お寿司や、スポンジケーキを購入し、皆さんでデコレーションを楽しんでいます。時には個別対応で「そば屋」へお連れする等の支援も行っています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を記録して把握している。又摂取量が少ない際は、好みや状態を考えて対応している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声掛けにて行っている。又、必要に応じ介助、訪問歯科を依頼している。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その人にあった排泄パターンを把握し支援している。	支援が必要な方、自立している方も含め全員分の排泄記録をつけて、個々の排泄パターンの把握に努めています。入退院等でオムツを使用していた方も、リハビリパンツを使用し、時間やタイミングを見計らった誘導でトイレで排泄出来るよう支援しています。		今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録にてしっかりと把握し訪問看護師との連携や状況に合わせて対応している。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の際は声掛けを行いタイミング等を選んでいただき、希望に沿えるように支援している。	週2回を基本とし、日曜日は「フリーの日」として自由に入浴して頂けるようにしています。入浴拒否のある方には、職員を変えたり、声かけの仕方を工夫しながら入浴を促しています。また、足腰の不安定な方へは、補助具を使用したり2人介助で浴槽に浸かれるよう支援しています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いつでも休めるように居室環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情をいつでも確認できるようにまとめ、個人記録にて情報共有を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	フェイスシートを把握しその人にあった支援方法を考えて行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	人員体制によるが外出希望がある場合は柔軟に対応している。その他、有料サービスによる個別的な外出介助にて対応している。	天気や気候の良い日には、事業所の目の前の緑道から公園まで15分程のコースを、ほぼ毎日散歩しています。家族の面会時に一緒に散歩や買い物に行っている方もいます。また、家族の依頼による受診等の外出支援も行っています。車を利用して季節のお花見や、鯉のぼりの見学等にも行っています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望により本人管理、施設管理をし外出時や職員と買い物に出掛けたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の状態に合わせお手紙の代行、携帯電話等でやり取りして頂いている。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るすぎない照明を使用している。外の景観が見えるように大きな窓を設置している。	室内は「和」をイメージした造りで、リビングは広くて窓も大きく明るく空間になっています。壁には、季節や行事に合わせた装飾をしていますが、普段は装飾を控えめにして、落ち着いて過ごせる空間となるよう心がけています。日常から空気清浄機を使用し、乾燥の時期には加湿器を使用して、湿度や温度の管理を行っています。加湿器は、次亜塩素酸水対応型を使用して除菌やウイルス対策をしています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの配置やソファの位置を配慮している。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	火器類以外の制限を設けず本人の使い慣れた物を使用している。	居室にはエアコン、クローゼット、ベッドと洗濯物などを干す事が出来る、吊り具も備品であります。入居時には、使い慣れた家具や調度品を持ち込んで頂き、個々に整理ダンス、テレビ、テーブル、椅子等が持ち込まれ、落ち着いて過ごせる居室作りがされています。また、居室担当の職員が作った、個人アルバムもあり来訪者との話題のきっかけになっています。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット内にトイレを3箇所設置するなど、思い立った時に利用できる空間づくりをしている。			

目 標 達 成 計 画

事業所

ライブラリ東林間

作成日

2018年12月14日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
		職員不足によるサービスの質低下	人員不足を解消し全体的なサービスの質を向上させる	・人員募集・個別ケアの重要性を研修を行い周知する。	半年
		認知症ケアに関する知識不足	認知症ケアに関する知識を向上する	認知症ケアに関する勉強会や研修の実施、参加	1年
		地域との連携が希薄	地域との関わりを深め連携を取っていく	・地域主催のイベントに参加する・施設イベントに地域の方を招く	2年
		意識・方向性の統一	理念の構築	理念についての勉強会実施	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	ライブラリ東林間
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の経営理念・行動指針を踏まえ全職員で施設目標を考え目標にそって実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域が主催のお祭り等に参加。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて取り組みの報告をしている。又、会議録等を行政に提出している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に一度包括支援センター、地域住民代表、入居者様家族に呼びかけて運営推進会議を行い、取り組みの報告や意見交換を行っている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の議題、議事録を提出し取り組みの報告を行っている。又、市からの研修等に積極的に参加する様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員に対しマニュアルの周知を促している。又、委員会を作り毎月研修を行っている。エントリ出口、夜間のみ玄関の施錠をしているが、ご家族様にその旨を説明している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルや資料で学んでいただいている。又、委員会を作り研修や、毎月職員会議にて身体拘束、虐待について話し合いを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は実施していない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時、重要事項説明書、契約の内容をしっかりと説明し正副にて交付している。又、いつでも閲覧できるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来所時に職員より普段の様子をお伝えしている。苦情に対し窓口を設置しいつでも対応できるようにしている。運営推進会議を開き意見、要望を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日朝にミーティング、月1回職員会議を開き話し合っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	四半期毎に人事評価を行い、キャリア、能力に見合う給与体系の構築、働く意欲の引き出し、将来に向かってやりがいのある職場になる様に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の資格取得支援制度を推進。法人内外部の研修を進め補助金を支給している。又、行政から来る研修案内を開示し希望者にはなるべく参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会やグループ会社との合同会議、運営推進会議を活用している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	フェイスシート、ケアプランにて情報を共有し入居者様の声に耳を傾け対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に面談を行い、アドバイスやどのように過ごして頂くかをお話しし対応を決めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、入居者様に話を聞きしっかりと介護計画を立てて必要な支援を提供している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の出来ること、やりたいことを見極め一緒に行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	相談、報告を行い出来る限り要望に応えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域のイベント、地域包括支援センター主催の認知症カフェに出来る限り参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性を考えたり、間に職員が入り関係性のフォローをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	弊社の他のサービスを紹介したりいつでも相談できる窓口を設置している。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	記録、会議等で情報共有をし職員間で話し合い、その人の希望や思いを考えて支援を検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面談時、家族に聞いた情報を個人情報にまとめ職員に把握して頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録を取り職員間、医療機関と情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議を利用し話し合いを行っている。又、介護記録情報を活用している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別介護記録、申し送りノート、会議録を活用し職員間での情報共有を行い、ケアに反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族からの要望があった時はその都度検討し支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のイベントには、なるべく参加出来るように検討している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族、本人様の意向に添って連携を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問日を把握し、入居者様の相談事をまとめて報告している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は適宜MSWと連絡を取り合い、受け入れ態勢を整える様にしている。また、退院後も診療情報をかかりつけ医に報告する体制を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の指針を掲げ、契約時に説明・同意を得ている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修計画担当者が定期的に研修を企画している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	外部、内部訓練を定期的に計画している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	アセスメント時に過去の経歴や生活歴を把握し、本人にあった声掛けができるように職員間で共有している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員会議、介護記録を活用し入居者の思いを知るように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	声掛けを行い、本人の希望に沿った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容が必要な方にはしっかりと支援し本人の好みを聞き取り把握して支援している。又、定期的に訪問理美容を呼んでいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳等出来る所は一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を記録して把握している。又摂取量が少ない際は、好みや状態を考えて対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声掛けにて行っている。又、必要に応じ介助、訪問歯科を依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その人にあった排泄パターンを把握し支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録にてしっかりと把握し訪問看護師との連携や状況に合わせて対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の際は声掛けを行いタイミング等を選んでいただき、希望に沿えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いつでも休めるように居室環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情をいつでも確認できるようにまとめ、個人記録にて情報共有を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	フェイスシートを把握しその人にあった支援方法を考えて行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	人員体制によるが外出希望がある場合は柔軟に対応している。その他、有料サービスによる個別的な外出介助にて対応している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望により本人管理、施設管理をし外出時や職員と買い物に出掛けたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の状態に合わせお手紙の代行、携帯電話等でやり取りして頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るすぎない照明を使用している。外の景観が見えるように大きな窓を設置している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの配置やソファの位置を配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	火器類以外の制限を設けず本人の使い慣れた物を使用している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット内にトイレを3箇所設置するなど、思い立った時に利用できる空間づくりをしている。		

目 標 達 成 計 画

事業所

ライブラリ東林間

作成日

2018年12月14日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
		職員不足によるサービスの質低下	人員不足を解消し全体的なサービスの質を向上させる	・人員募集・個別ケアの重要性を研修を行い周知する。	半年
		認知症ケアに関する知識不足	認知症ケアに関する知識を向上する	認知症ケアに関する勉強会や研修の実施、参加	1年
		地域との連携が希薄	地域との関わりを深め連携を取っていく	・地域主催のイベントに参加する・施設イベントに地域の方を招く	2年
		意識・方向性の統一	理念の構築	理念についての勉強会実施	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。